

加藤 圓清 (かとう えんせい)



Profile

『竹林山 法音寺』 副住職

地元の高校を卒業し、東京の立正大学で仏教を学びながら音楽活動をする。「天下一音楽会」の決勝戦で、ZEPP TOKYOにて1000人以上の観客の前でパフォーマンスを披露するが、実家の寺を継ぐために解散。平成26（2014）年度、総本山である『身延山久遠寺』で三十五日間の修行を終えて日蓮宗の僧侶となる。平成27（2015）年度・令和元（2019）年度の2度、百日間の大荒行堂を成満。

全国の寺やイベントで"うたうお坊さん"として説法ライブを続けている。臼杵市出身。

■大切にしていること

・地域のみなさんから喜んでもらえるお寺づくり

■学べること・できること

・仏教・修行のお話 ・厄除けなどの祈祷体験

■見てほしい観光地や味わってほしい味覚

・海・山・川を全部一日で楽しめる臼杵の素晴らしい自然 ・味噌ソフトクリーム

■私の“SDGs×#〇〇”

#オンライン檀家 #お寺の改革

お釈迦様の教えを ギターの旋律に乗せて

ギター抱えて町から町へ。歌とトークの説法ライブで、がんばりすぎる人の心をスッと軽くする。加藤圓清さんは『法音寺』の副住職だけでなく、“うたうお坊さん”としての顔を持っている。YoutubeやツイッターといったSNSをいち早く取り入れて情報を発信するなど、柔軟な思考で精力的に行動する姿は、良い意味で型破りな僧侶ともいえる。だがそこには、仏教の良さを多くの人に伝えたいという、圓清さんの強い思いがこもっていた。

この寺で生まれた圓清さんは、高校卒業後に仏教系の大学へ進学。幼い頃から抱いていた“将来は寺を継ぐ”という漠然とした思いは、大学で仏教の奥深さを学ぶにつれ、より明確になったという。卒業後は総本山で修行をして僧侶に。さらに百日間の大荒行などの厳しい修行を経て今に至るが、そのなかで気付いたのは「本来、お釈迦様の教えとは、今を生きる人の暮らしが豊かになるためのもの」ということ。どうすればそれを多くの人に伝えられるのか？そう考えた時、ギターでの弾き語りを思いついた。若い頃、ミュージシャンとしても活動していた圓清さんは「説法ライブで各地を回りました。全国ツアーですね。ある意味、昔の夢が叶いました」と優しく笑う。

自分の持てるものすべてで、お釈迦様の教えを人々に伝える圓清さん。現代における人と仏教の在り方を見つめながら、若き僧侶は今日も歌い続ける。



平成24（2012）年から始めたyoutube。
毎月「Liveお参り」も行う。



「うたうお坊さん」の絵と言葉が添えられた御朱印。



2月3日の「水行会」は、一年の邪気を払う節分の伝統行事。